

四季折々の山が見え、海が見える御大師さんが歩いた遍路道を体験してみませんか？  
各々のお寺で御本尊様のカラー御影を用意しております。此度、記念台紙をご準備いたしました。お遍路の記念にどうぞ！

●カラー御影 200円  
●記念台紙 500円



四国霊場  
あがり五大寺まいり  
特別参拝記念品



●アクセス:さぬき市コミュニティバスJR志度駅前から徒歩約10分、国道口から徒歩約5分  
TEL.087-894-0086 (さぬき市志度1102)



四国霊場 86 番札所  
補陀洛山 清浄光院 志度寺  
真言宗普通部派 十一面観世音菩薩

清閑な境内に幾年月もの時を織り込んだ名刹・志度寺。高松藩主松平頼重公によって作られた本堂や、朱塗りで高さ33メートルの五重塔があるほか、仁王門の両脇には運慶作と伝わる木造金剛力士像がまつられています。また、国内でも珍しい曲水式庭園や海女の玉取り物語の情景を表した無染庭などもあり、訪れる参拝客の姿が絶えません。



●アクセス:さぬき市コミュニティバス大川バス本社前から徒歩約5分  
TEL.0879-52-2041 (さぬき市長尾西653)



四国霊場 87 番札所  
補陀洛山 観音院 長尾寺  
天台宗 聖観世音菩薩

お観音さんの愛称で親しまれている長尾寺。門前にある「経幢」は国の重要文化財に指定され、鎌倉時代から栄えた名刹を物語っています。また、静御前が、悲恋の末、磯禪尼(いそのぜん)と共にふるさとに帰り長尾寺で得度した話は有名で、静の剃髪塚(ていはつづか)などがまつられています。



●アクセス:さぬき市コミュニティバス大窪寺から徒歩約1分  
TEL.0879-56-2278 (さぬき市多和兼割96)



四国霊場 88 番札所  
医王山 遍照光院 大窪寺  
真言宗単立 薬師如来

四国遍路を締めくくると結願の寺・大窪寺。標高774メートルの女体山(のむと)にあり、本堂とそれに続く二重多宝塔が静かなたたずまいを見せています。境内にある寶杖堂には、無事に長旅を終えたお遍路さんたちの金剛杖が奉納されています。また、大護摩により供養される鈴の音で環境庁(現在の環境省)主催の「音風景100選」に選ばれており、一年を通じて大勢の参拝客が訪れています。



●アクセス:こつでんバス屋島山上大駐車場から徒歩約5分  
TEL.087-841-9418 (高松市屋島東町1808)



四国霊場 84 番札所  
南面山 千光院 屋島寺  
真言宗御室派 十一面千手観世音菩薩

源平の古戦場として知られているお寺。境内にある「宝物館」では国指定重要文化財である本尊「十一面千手観世音菩薩」や、平家供養の鐘と言われている「梵鐘」をはじめ、屋島合戦屏風など寺宝が保存・展示されています。また本堂の横には、「太三郎狸」と呼ばれる土地の氏神が祀られている「葦山大明神」があり、子宝や縁結び、家庭円満のご利益があると言われています。



●アクセス:こつでん八栗駅から八栗ケーブル登山口駅前まで徒歩約20分、山上駅まで約4分  
TEL.087-845-9603 (高松市牟礼町牟礼3416)



四国霊場 85 番札所  
五剣山 観自在院 八栗寺  
真言宗大覚寺派 聖観世音菩薩

どっしりと峻しい五剣山の中腹にあるお寺。麓からはケーブルカーで登ります。本堂横の「聖天堂」には「歓喜天」(他人の歓びを自らの喜びとする天尊)が祀られ、商売繁盛・学業成就・縁結びなどにご利益があり、「八栗の聖天さん」の名前で親しまれています。近年、山門西に高松市外を一望する展望台(お迎え大師)が落成し、当山の新名所となっています。



だいでシンプルに食べる讃岐うどんはもちろんのこと、各寺の周辺には名店が勢揃い。歴史的建造物の中で食べるたらいうどんやぶっかけうどん、冷めた体や疲れた体を癒す打ち込みうどんなどぜひお立ち寄り下さい。

地域に愛される名物  
讃岐うどん



へんろ文化を伝える貴重な資料が多数展示され、現代まで続く遍路文化を学ぶことができます。  
●アクセス:さぬき市山936  
TEL.0879-52-0208

おへんろ交流サロン

お問い合わせ  
さぬき市コミュニティバス  
さぬき市都市整備課 087-894-1113  
こつでんバス 087-821-3033  
こつでん電車 087-831-6008



「衛門三郎」が二十回お四国遍路をした後、逆に廻って、「弘法大師」と出会えたという伝えがあります。逆から廻りはじめた年が閏年だったという事もあり、一度四国八十八カ所を巡った人が四年に一度の閏年に逆打ちすると、「弘法大師」に出会える。また通常は一番札所から順に廻るために整えられてきたお遍路道を逆に巡って結願する苦勞があることから、さらに深い徳を授かれるとも言われ今に伝わっています。

おすすめ

閏年の逆打ち